

認定NPO法人 チャイルドファーストジャパン (CFJ)

在宅支援技術研修

～児童相談所の機能強化のために市区町村が担うべきこと～

対象：市区町村の『要保護児童対策調整機関』『子ども家庭総合支援拠点』『母子健康包括支援センター（子育て世代包括支援センター）』の職員 および CFJ会員

東京都目黒区の結愛ちゃん事件、千葉県野田市の心愛ちゃん事件を受けて、児童相談所の機能強化策が次々と打ち出されています。しかし、児童相談所が十分に機能するためには、市区町村との役割分担が欠かせません。

では、市区町村はいったい何を担えばよいのでしょうか？『新しい社会的養育ビジョン』が示す将来像を基に、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

キーワードは、『児童相談所のCPS化』（CPS：Child Protective Services、子ども保護機関）と『在宅措置』（児童福祉司指導の市区町村委託）です。

講師：山田 不二子

認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長

第1回：『新しい社会的養育ビジョン』が示す将来像

第2回：市区町村が担うべき職責

第3回：『児童相談所のCPS化』

第4回：児童福祉司指導の市区町村委託『在宅措置』

第5回：市区町村は担うべき職責をどう実践すべきか？

◎研修日程（※ 5回連続のコースです。）

◆第1回 2019年 6月16日（日）

◆第2回 2019年 8月31日（土）

◆第3回 2019年10月26日（土）

◆第4回 2020年 1月18日（土）

◆第5回 2020年 3月14日（土）

◎会 場：神奈川県総合医療会館 2階 会議室A
（神奈川県横浜市中区富士見町3-1）

◎時 間：午後2時～午後4時

◎税込み受講料：正会員 8,640円、賛助会員 9,720円、非会員 10,800円

